

マキノ病院ニュース

第114号

— 令和2年10月1日発行 —

地域密着型小規模多機能型居宅介護事業所

『はびねすマキノ』のご紹介

所長 田中 千香代

小規模多機能型居宅介護とは、高齢者が介護が必要になつても、住み慣れた家や地域での生活を維持できるように、ご本人の状態やご家族の必要に応じて「通い」「泊まり」「訪問」の3つのサービスを組み合わせ、在宅介護サービスを支える。在宅介護サービスです。ご本人の様子やご家族の希望に応じて、サービスの時間や内容も柔軟に変化させ対応できます。

「通い」は、短時間でお食事・入浴だけの利用、なじみの人に会っておしゃべりだけして帰る、あるいはご家族の都合に合わせた延長しての利用など、様々な利用の仕方があります。「訪問」は排泄や食事などの身体介護だけでなく、安否確認や話し相手、買い物物の支援など内容や時間はそれぞれ利用者に合わせて提供しています。「泊まり」は通い慣れた施設にそのまま泊まるので、抵抗感なく泊まっていたくことができます。今までのデイサービスには行きたがらなかった方で、自宅への訪問をしてヘルパーと顔なじみになってから「通い」に行けるようになられた方もおられます。

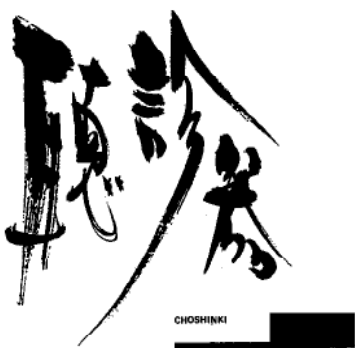
人数に継続したケアができる特性を活かして、独居や認知症で在宅生活が困難な状況の方の支援もさせていただいています。なじみの場所でないの人もと過ごすことで、自分の居場所や役割を見つけ、安心して暮らしていくことができます。また、同じヘルパーがすべてのサービスを行うことで、ご本人やご家族のことを深く理解でき、家族とヘルパーのコミュニケーションが円滑に取れることで、気持ちも身体も楽に介護できるようなったとの感想をいただいております。

当施設は、医療法人が運営し病院に隣接した立地条件からも、これまでに胃ろうや尿管留置力テール、インスリンの注射や褥瘡の処置など医療依

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



21世紀の3大イノベーションとして、ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）と共に医療・ヘルスケアが挙げられます。確かに、色々な生物学的製剤に加え、遺伝子治療やがん免疫治療の登場で今まで治らなかった病気が治る時代になりました。

そんな中でスマートフォン（スマホ）のアプリとヘルスケアを融合し

スマートフォンで禁煙を！

循環器内科 星野 温

たサービスがあるのをご存知でしょうか？デジタルヘルスと言われたりもしますが、例えばネットで健康アプリと検索すると、体重やカロリーを記録するアプリ、血圧管理アプリ、薬の飲み忘れ防止アプリ、など色々なアプリが見つかります。私たちは

た。CareAppという会社が開発したニコチン依存症を対象とした治療アプリで、正式な薬事承認が得られたので近いうちに病院で「スマホのアプリ」が禁煙補助薬として、処方されることとなります。実はこのような治療アプリは海外では

は病院で呼気中の一酸化炭素濃度を測定し、禁煙補助薬の処方の他に色々な情報を盛り込んだ手帳などを利用していましたが、今後はそういった情報ツールが治療薬として処方されることとなります。内容としてはスマホのアプリと携帯型の一酸化炭素測定機器を従来の禁煙補助薬の「チャンピックス」と組み合わせて使われます。患者はスマホのアプリに自分の気分や服薬情報などを入力すると、それに応じた治療ガイドが配信されます。例えば、「たばこを吸いたくなった」とアプリに入力すると、「なぜ吸いたくなったのですか？」と質問したり、「つらいですよ」と共感したり、「ガムをかみましょう」「部屋の掃除をしましょう」といった

たります。また呼気中の一酸化炭素濃度を定期的に計測した結果も、治療ガイドに反映されます。禁煙にはタバコに対する心理的依存とニコチンに対する身体的依存を克服する必要がありますが、従来の禁煙補助薬で身体的依存を、治療アプリで心理的依存を治療していくこととなります。こういったアプリもいわゆる臨床試験がきつちり行われており、アプリを併用することで禁煙成功率が10%以上高まっています。禁煙に興味のある方はぜひ一度病院へご相談ください。

ついつい怠けてしまう、忘れてしまう、ということがどうしてもありますが、アプリを利用して時にゲーム感覚を取り入れて習慣作りを助けてくれます。

既に、禁煙だけでなく糖尿病やうつ病などの治療にも実用化されています。今後日本でも禁煙だけでなく、他の病気の治療にも広がっていくことが予想されます。

このアプリが病院での治療にも使われることが今年の8月に決まりました。現在